

立ち止まり対話するための助成金「AKBN（アケボノ）ファンド」
2021 年度第 4 期 助成事業報告書

NPO 法人田縁プロジェクト

1. 振り返りエッセイ

- 枠の大きさは規定のものから変更せず、その中に収まる分量でお願いします。
- こちらの文章は提出後、アカツキ Web サイトにて公開致します。
- 必ず、「振り返りインタビュー」実施後に記入してください。

AKBN ファンドを活用した「立ち止まり対話する」取り組みについて、いつ何を行ったか・どのようなことが起きたか・メンバーの誰がどう発言したか等について、自由な形式で作文してください。なお、書き方に特に形式の指定はなく、「エッセイ」のようなイメージとしています。

法人化 2 年目にして大きな不安が…。そもそも法人化したのは、田縁プロジェクトの活動を未来に繋げていくため。しかし、その土台の 1 つである会計処理については、理事長のパソコンと力量に任せられ、不測の事態が起こった時は、法人継続の危機に陥るのではないかと。

そこで、アケボノファンドに採用されたのを機に、会計処理を継続的に行える仕組みづくりについて、理事会のメンバーで共有できる場ができた。まず、9 月の理事会で私の不安を理事全員で共有し、助成金の活用方法について具体的に意見交換を行った。特に、事務局からは「今年から事務所はできたものの、パソコンもなければ通信手段は個人の携帯のみ。ぜひ、事務所を活動拠点らしくするために活用してもらいたい」との強い要望が出た。

その後 11 月には、アカツキから雪松さん、白神さんと、税理士の末吉さんの 3 名が私たちの活動する糸島市の田んぼまで来て下さり、理事 6 名と一緒に現状を考えた。それぞれの立場と経験から様々なアドバイスをいただき、新たな体制作りへのヒントをたくさんいただいた。この出張相談会は、理事にも大変評判がよかった！コロナ下ではあるが、やはり対面で顔を合わせて話をする大切さを感じた。

おかげで、事務所にはパソコン、プリンター、そしてネット環境が整い、今後は会計処理も個人宅ではなく、事務所で行えるようになった。また、今後はクラウドを活用して、理事がいつでも運営に関するデータを見ることができるよう準備していきたい。事務所の新しい機器たちの活用が、まだまだ広がっていくことを期待している。

2. 支出報告書

■領収書ほか会計証憑書類の添付、当初予算からの残額の返金は不要です。

■枠の大きさは必要に応じて増減して構いません。

■こちらは「振り返りインタビュー」実施前に記入されても構いません。

決算会計報告		
種別	内容	収入金額
<input type="checkbox"/> 本助成金	AKBN ファンド「数字と向き合う」	200,000 円
<input type="checkbox"/> その他	団体自己負担金	3,200 円
費目	対象・使途・目的・内訳（具体的な詳細を記入）	支出金額
<input type="checkbox"/> 人件費		
<input type="checkbox"/> 賃借料		
<input type="checkbox"/> 飲食費		
<input checked="" type="checkbox"/> 消耗品費	1 ノートパソコン (LAVIE N1565) : 会計、情報共有	114,180 円
	2 ノートパソコン 5 年保証	26,400 円
	3 プリンター (キヤノ複合機 G3360) : 資料印刷	25,820 円
	4 楽天モバイル (AQUOS) : Wi-Fi、通信	14,800 円
	5 会計王 21 : 会計ソフト会計王 20 のバージョンアップ	22,000 円
<input type="checkbox"/> 交通宿泊費		
<input type="checkbox"/> 印刷製本費		
<input type="checkbox"/> 通信運搬費		
<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 未使用残額		
合計金額		203,200 円

3. 助成プログラムへのフィードバック

■AKBN ファンドに対する評価・疑問・要望・期待等を記載ください。

ちょうどいいタイミングで、アケボノファンド助成金を活用することができて幸運でした。ぎりぎりの予算で運営しているため、このような助成金がなければ、会計処理については今までのままだったと思います。ただし、再公募で 20 万円に増額されたから、応募したところはありません。10 万円ではパソコン 1 台買えないからです。できれば、今後も 20 万円での公募であることを期待します。